

こ う じ ゅ  
**幸 樹**  
第 4 号

発行・一般社団法人幸樹会「幸樹」編集委員会

2015年7月1日

.....幸樹会事業所.....

からたち薬局・介護ショップからたち

千葉県松戸市日暮 7-344 ☎047-710-2785

あんず訪問看護ステーション

千葉県松戸市河原塚 411-1-101 ☎047-701-5559



画家プロフィール：高橋聖大（たかはし しょうた）1990.7.13 松戸市生まれ。

2014年多摩美術大学絵画学科日本画専攻を卒業。

命の現像をテーマに優しい詩を読むような作品の製作に取り組んでいる。

今回の絵は、夕焼けの新京成八柱駅北口です。

原画は、からたち薬局に展示されています。

## 我が家の介護体験記 vol. 2

### 『～今は畑が私の生き甲斐です～』

——吉岡 信太郎さん 89 歳（松戸市在住）——

〔ご略歴〕 戦時中、海軍飛行予科練習生を経験され 19 歳で終戦。戦後、社会学と運動生理学を学ばれ高校体育教師として教頭まで勤め上げる。その間、東京オリンピックの集団指導や体育の集団指導のルールブック執筆、また千葉大学で非常勤講師として医学部の学生に日常生活での「体力づくり」を講義。ご退職後は、足立区体力作り推進室長として高齢者のできるニュースポーツの開発に努められた。



（若き日の信太郎さん）



（畑仕事を教えてくれている現在）

今年初頭より奥様が体調を崩され、介護が必要な状況となりました。以下、インタビュー形式で介護をされている生のお声をお届けいたします。

#### Q. 介護のポリシーは？

A. スポーツプログラマー（トレーナー）などの資格も持っているため元気な人の運動方法は身につけていたが、そうでない人には通用しないことがあるということを実感した。しかし人間には「食事」「垂直にたつ、起きる」「娯楽や趣味」この 3 つが必要。妻にもそれが必要だと思う。

#### Q. 介護を経験して現在の心境は？

A. 今回初めて老老介護となり、介護する側のサポートがとても重要だということがわかった。介護をすることによって「職業・趣味を選ぶか」「介護される側に奉仕するのか」この 2 択に絞られた。簡単に言えば、趣味や娯楽は皆無になった。今回ヘルパーや訪問看護を

使うことになって、初めてそういうサポートがあることを知った。現在は、そういうものを利用することで気持ちの余裕ができた。妻の体で何が起きているのかよくわからなかったが、それを学ぶこともできたし、自分がどう介護すればいいのかを知る機会ができた。また、訪問してくれている間、畑など外出ができるようになった。

現在の介護保険の認定調査は、介護される側にしか目が向いてないように感じる。介護する側がどのような状態で、どのくらいサポートが必要なのかを把握して、どちらにとっても必要なサービスを紹介することが大切なのではないか。

#### Q. 今後介護を続けていく上で望むことは？

A. ゴルフや山登り・旅行など 1 日を費やす時間がつくれば、と思う。

#### Q. 生き甲斐である畑を始めたきっかけは？

A. 社会学を学んだため、集団心理について元々関心があった。「この地域を明るくしよう」「挨拶をしよう」という目標のもと、自分の畑を地域の人たちに開放し、農業や野菜の共有を通して、安心できる場として地域を見直してほしいという思いから始めた。人間は挨拶やジェスチャー・表情でお互いを信頼できる相手か判断する。それがコミュニケーションの始まり。「危ない人には声をかけない」というのではなく、挨拶をすることで判断する能力を養うことが大切。そういうことを学んでほしい。

（現在近隣の幼稚園や自閉症親の会、信太郎さんの教え子などさまざまな方々が、信太郎さんの畑で野菜を育てています。私たちも 5 月からお借りしています。その取り組みについては、次月号またはブログにてご報告いたします）

#### Q. 今後の展望は？

A. ここの野菜の一部は地域の方々に自由に収穫してもらえるように開放する。私欲で多く持っていきたくないが、ここが安心できる地域であれば、人間は自然に必要な分だけを取って、分かち合うようになる。各人の行動がこの地域を判断する指標になる。今年は枝豆で行う予定。ここで育つコミュニケーションが、いずれは孤独死を防ぐこともできると思う。

信太郎さんより皆様へ！

機会があったら「ニュースポーツのビーチボールバレー」をやってみませんか。「ルールは人間を超えてはいけない」を念頭に。

このように奥様の介護とご自身の生き甲斐にと、とても研究熱心な信太郎さん。私たちは、吉岡さん宅でとても多くのことを教えていただいています。奥様にも信太郎さんにも、自分らしく居ていただくために関係者の方々と一緒にサポートしていければと思っています。

また現在私たちは、地域の方々の生の声を共有できる方法を模索しています。信太郎さんの講演も計画しています。在宅療養している地域の方々が、思いを抱え込まず声に出して、人と人がつながっていけるような企画のご案内ができるよう準備しています。

信太郎さんには今回「幸樹」の取り組みにご賛同いただき、ご本名の公表から記事内容のご確認まで貴重な想いとお時間を頂戴して掲載に至ることができました。心より感謝申し上げます。

## 中野食堂だより

### 【幸樹会 理事長 中野三代子】

季節は夏！中野食堂には、利用者さんのご家族が育てた夏野菜が並びます。

きゅうり・なす・トマトなどをいただき、職員も野菜をたっぷり食べる毎日です。あんず訪問看護ステーションの所長 大塚さんは糠漬け上手（糠床は 18 年物!!）、食べたい野菜を渡すと翌日糠漬けにして持ってきてくれます。ゴーヤ・セロリ・ズッキーニという変わった糠漬けもおいしかったです。副所長の奥村さんからは色鮮やかな紫蘇ジュースの差し入れがあり、りんご酢のさわやかな味と紫蘇の香りでリフレッシュしました。看護師の村里さんは、利用者さんの畑の落花生でクッキーを焼いてきてくれるなど、職員も色々な形で参加しています。からたち薬局事務の谷田さんはほめ上手。おいしそうに食べてくれると嬉しいですね。利用者さんやご家族がぶらりとお見えになることもありますし、亡くなった利用者さんのご家族が、思い出話をしに来てくれることもあります。気軽に立ち寄れるたまり場的な場所です。

あんず訪問看護ステーションは主に自転車で訪問しています。これからの夏の日には暑さと紫外線に気を付けなければいけないので、野菜からビタミンC、利用者さんやご家族からビタミン愛をいただいて頑張りたいと思います。先日、連携している健和会出身 宮崎和加子さん（訪問看護師草分けの方です。ご実家は山形のさくらんぼファーム。）のお母さんの農園で作られたさくらんぼが届きました。とてもきれいで美味しかったので写真を載せます。甘ずっぱい初夏の味覚をみんなで楽しみました。



## からたち薬局の紹介



からたち薬局は、訪問薬剤管理指導の対応が可能になりました！！

### 【訪問薬剤管理指導とは…】

通院が困難な患者さん、利用者さんに対し医師又は歯科医師の指示のもと薬剤師が自宅や施設に訪問し、薬の正しい飲み方の説明、服用状況の確認、副作用の

チェックなどの疑問に答えながら、薬物療法が適正に実施されているかどうかを確かめ、より質の高い在宅療養を提供するためのサービスです。

薬剤師が訪問することで、利用者の生活環境、薬剤の服用状況、残薬の有無及び薬の飲み合わせなどを把握することができ、それをもとに看護師・ケアマネジャー・ヘルパーなどの他職種に情報提供を行うことで、利用者ごとに適した一番服用しやすい状態（服薬カレンダーの利用・一包化等）の提供が可能となります。

この居宅療養管理指導は、介護保険制度や医療保険制度の運用の中で利用することができます。

この他にも、保険適用となる医材も対応できるように準備しています。あらゆるニーズに対応するために日々勉強しています。ご不明な点やご要望がありましたら、からたち薬局までご連絡ください。

在宅療養



福祉用具

### 【からたち薬局 事務 武井友恵】

今回は福祉用具貸与についてお伝えしたいと思います。

福祉用具貸与は介護保険のサービスです。サービスを受けるためには、市区町村に申請し、「要介護」「要支援」の認定を受ける必要があります。福祉用具貸与は、利用者の皆様が可能な限りご自宅で自立した日常生活を送ることができるようにするためのものです。指定を受けた事業者が、利用者の心身の状況やご希望をお聞きし、ご自宅などの生活環境に合わせて、適切な福祉用具を選ぶための援助・取り付け・調整などを行い、福祉用具の貸出しを行います。福祉用具をご利用いただくことでより暮らしやすく安心して過ごすことができ、ご家族の介護の負担軽減などにもつながります。

\*補足\*

福祉用具貸与の対象は 13 品目あり、要介護度に応じて異なります。その内「車いす」「車いす付属品」「特殊寝台」「特殊寝台付属品」「床ずれ防止用具」「体位変換器」「認知症老人徘徊感知器」「移動用リフト」は、要支援 1・2、要介護 1 の人は原則保険給付の対象となりません。

また自動排泄処理装置は要支援 1・2、要介護 1・2・3 の人は原則保険給付の対象となりません。

\*ご利用者の負担\*

①福祉用具の貸与に係る費用の 1 割を利用者に負担していただきます。

②費用は対象品目によって異なります。また、要介護度別に 1 カ月間の支給限度額が決まっているため、他の介護サービスとの組合せの中で限度額に応じた福祉用具を選択する必要があります。

からたち薬局併設「介護ショップからたち」でも福祉用具貸与を行っています。お気軽にご相談ください。

## 定期勉強会

●前回報告 6月19日(金)実施  
テーマ「経営管理論の歩み概要リーダーシップ論  
パート3」 講師 武井幸穂氏

【参加者感想】

「叱責は、組織の下位にいる職員に対してはマイナス報酬だが、上位にいる職員に対しては経験を通して対応している物事のあいまい性を明確にしてくれるということは、日々の業務でも感じている。」

●次回学習会予定 テーマ「徳永進『こんなときどうする？キュアとケアの図』に対応する組織とは」  
日時：7月17日(金)、18：30～19：30

場所：ハーレ・ヨシ101号

\*参加希望申し込みや内容については、本部までお問い合わせください。(連絡先は下記記載)

## ブログもあります

●からたち薬局

<http://ameblo.jp/karatachi-p/>

\*「からたち薬局 ブログ」で検索できます

●あんず訪問看護ステーション

<http://ameblo.jp/anazu-kouju-kai/>

\*「あんず訪問看護ステーション ブログ」で検索できます

## 一籍にはたきませんか！？

## 看護師・薬剤師・ケアマネジャーの資格がある方お待ちしています☆

詳しくは、本部へお問い合わせ下さい。  
連絡先 一般社団法人幸樹会本部 中野三代子  
住所：千葉県松戸市河原塚 411-1-102  
TEL：047-701-7550  
E-mail：miyoko-nakano@kouju-kai.or.jp

## 編集後記

「幸樹」は、医療関係者からそうでない方々、さまざまな方に見ていただいています。前回幸樹発送後も、色々な反響をいただきました。今後も在宅療養がパッと想像できる、そんなお手伝いできたらいと思います。最後までお読みいただき、ありがとうございました。(奥村万里子)